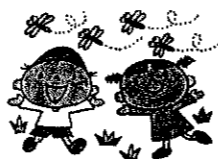




# ほげんだより



やまと保育園

2018年9月号

9月は夏の疲れが出やすい時期です。「睡眠・栄養・休養」を十分にとり、生活リズムを整え、元気に登園できるようにしましょう。

## <9月の保健行事>

**乳幼児健診** 5日(水)

全員対象 14時~15時頃 できるだけ登園願います

・身体測定 26日(水) 0、1、2歳 28日(金) 3、4、5歳

## <8月の罹患状況>

・ヘルパンギーナ 13名 ・手足口病 3名 ・流行性角結膜炎(はやり目) 6名  
・RSウイルス感染症 2名 ・溶連菌感染症 2名 ・感染性胃腸炎 1名

😊 8月は園では何年振りかに流行性角結膜炎(はやり目)が流行りました。目の充血・目ヤニ等の症状は子どもたちにはよく見られる症状の一つですが、時々ある充血や目ヤニだろうと様子を見ていたら、時に感染症(はやり目)だったということがあります。保育園は集団生活の場なので、あとから気づいた時にはすでに周りのお友達に感染してしまっていることがあります。感染症拡大防止のため、おかしいな?と思う症状が見られた場合(はやり目に限らず)は、必ず病院を受診されてから登園されますよう、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 流行性角結膜炎(はやり目)について

### 1. 特徴

流行性角結膜炎はアデノウイルスにより起こる急性の結膜炎のことで、別名「はやり目」ともいわれ学校保健安全法の学校感染症第三種の感染症の一つとされています。感染力が強力で急に発症し、咽頭炎・結膜炎・高熱の三大症状のほかに、まぶたのむくみ、涙目、耳前リンパ結核の腫れなどの症状も現れることがあります。また、片目に発症し通常2~3日以内に他目にもうつります。

### アデノウイルスの代表的な3つの症状



3大症状

- (1) 咽頭炎(のどの腫れ・痛み)
- (2) 結膜炎(目やに・目の充血)
- (3) 高熱(38~40℃近い高熱)



があることが特徴です。



### 2. 感染経路・潜伏期間

主に罹患者の目に触れた手、目ヤニや涙などの分泌液を介して感染する接触感染で、潜伏期間は患者と接触後5日~14日の潜伏期間を経て発症します。

### 3. 検査と治療

アデノウイルスに効果のある抗ウイルス薬はありません。安静と休養、栄養のある食事をとることが治すための近道です。対症療法として、抗菌剤の点眼・炎症を和らげる目薬が処方されます。

※流行性角結膜炎(はやり目)かどうかを判定する迅速検査で分かるのは50~60%程度、この検査に反応しないウイルスもあるため、陽性であっても陰性となる場合があります。なので、目の症状が落ち着くまで(感染性が弱まるまで)自宅で様子を見るのが良いとされています。

### 4. 予防対策

- ・手洗いとうがいを念入りに
- ・栄養と睡眠をとり、体力を蓄える
- ・タオル、ハンカチ、目薬など人と共有しない



### <消毒・洗濯>

- ・アデノウイルスは熱に弱い。
- ⇒使用したタオル・衣服等の消毒を・・・56℃以上5分間以上、95℃で5秒間の熱消毒。
- または、次亜塩素酸(家庭用塩素系漂白剤)に30分浸したあと洗濯する。

## 防災週間(8月30日~9月5日)

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけない物(薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など)
- ・踏み台になる物はベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する(食べ物や飲み物が喉に詰まることがある)
- ・浴室には子ども1人で勝手に入れないよう工夫する



### ★虫刺されに注意しましょう

プールの季節が終わり、9月は公園で遊ばれたい季節も増えます。園では別冊「お虫さされ対策」(6月のほげんだより)を行っていますが、ご家庭や外出先でも虫さされには十分注意してください。また、汗をかきやすいお洋服は散歩用に涼しい素材の長袖、長ズボン等をご用意ください。